

石川光陽写真展

第1期

昭和の幕開け・モダン東京

2024年11月2日(土)～2025年2月24日(月)

第2期

戦時下の東京

2025年3月1日(土)～2025年6月29日(日)

第3期

終戦・復興する東京

2025年7月5日(土)～2025年12月21日(日)

第1期



モダンボーイとモダンガール 東京都中央区銀座/昭和10年(1935)8月

第2期



空襲下の数寄屋橋付近 東京都中央区銀座/昭和20年(1945)1月27日

入場無料

第3期



東京タワー 東京都港区芝公園/昭和34年(1959)10月頃

会場 昭和館2階ひろば

開館時間 10:00～17:30(入館は17:00まで)

休館日 月曜日(祝日または振替休日の場合開館、翌日休館)

ごあいさつ

昭和館開館25周年の記念写真展として、警視庁のカメラマンであった石川光陽の作品をご紹介します。
石川光陽(本名 石川武雄)は、明治37年(1904)福井県に生まれました。昭和2年(1927)に警視庁へ入庁し、退職するまで警察官の立場から昭和を記録しました。とりわけ戦中の空襲被害については、警視総監から特命を受けて記録したもので、戦争の悲惨さを現代に伝えていきます。また、東京に暮らす一市民として、何気ない日常を写真に収めています。

今回の写真展では、昭和館が所蔵する9,600点あまりの光陽の写真から厳選し、3期にわけて展示いたします。

第1期

昭和の幕開け・モダン東京

2024年11月2日(土)~2025年2月24日(月)



ガソリンスタンドの女性従業員▲
東京都台東区/昭和6年(1931)



▼資生堂パーラーの店内 東京都中央区銀座/昭和9年(1934)7月



二・二六事件の反乱軍▲
東京都千代田区霞が関/昭和11年(1936)2月27日

石川光陽 略歴

- 明治37年(1904) 福井県に生まれる(父の仕事の都合で静岡県のち長野県へと転居)
- 大正8年(1919) 九段下の蜂谷写真館で修行を始める
- 大正10年(1921)頃 長野県松本市で父と共に写真館を始める
- 昭和2年(1927) 警視庁へ入庁、写真撮影担当となる(赤坂表町警察署(現・赤坂警察署)勤務)
- 昭和6年(1931) 警視庁本庁勤務
- 昭和7年(1932) 当時の警視総監であった藤沼庄平より「光陽」の名を受ける
- 昭和20年(1945)9月 GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)から空襲被害を撮影したフィルム
の提出を要求されるが、自宅の庭などに埋めて守り通す
- 昭和38年(1963) 警視庁を依願退職
- 昭和63年(1988) 戦前から昭和30年代までの作品をまとめた写真集『グラフィック・レポート
痛恨の昭和』を、岩波書店より著作出版
- 平成元年(1989) 逝去



第2期 戦時下の東京

2025年3月1日(土)~2025年6月29日(日)



◀ 撃墜模擬訓練

東京都中央区日本橋/昭和12年(1937)頃



▲ 産業戦士体育祭▲

東京都新宿区霞ヶ丘町/昭和16年(1941)9月



▲ 焼けた浅草の東本願寺▲

東京都台東区西浅草/昭和20年(1945)3月10日

第3期

終戦・復興する東京

2025年7月5日(土)～2025年12月21日(日)



◀ **ひざまづく人々**
東京都千代田区皇居外苑 / 昭和20年(1945)8月16日



▲ **銀座四丁目の交通整理** 東京都中央区銀座 / 昭和21年(1946)



▲ **浅草の露店** 東京都台東区浅草 / 昭和23年(1948)2月



昭和館

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1
TEL.03-3222-2577 FAX.03-3222-2575

<https://www.showakan.go.jp>



X: <https://x.com/showakankudan>

F: <https://www.facebook.com/showakankudan/>

交通のご案内

● **電車をご利用の場合**

地下鉄九段下駅から徒歩1分(東西線・半蔵門線・都営新宿線 4出口)、JR飯田橋駅から徒歩約10分

● **車をご利用の場合**

首都高速西神田ランプから約1分(九段下交差点)
有料駐車場(30分200円) 普通乗用車専用駐車場がご利用になります。

